



北海道大学公開講座「『国のかたち』を案ずる時代の知恵」 の開催について（お知らせ）

開催概要：「『国のかたち』を案ずる時代の知恵」の共通テーマのもと、北海道大学の研究者たちが、様々なテーマでお話しします。安全保障や憲法の問題にとどまらない「国のかたち」をめぐる議論に、多岐にわたる専門分野から迫る 8 回連続の講座です。昨年に引き続き、講義の一部は休日（7 月 18 日（月・祝））の昼間に開催します（全 8 回のうち、一部の講義のみの受講も可能です）。また、初めての試みとして、この春、北海道大学に入学した 1 年生が、コミュニケーション能力を育成する演習授業の一環として、各回の講師紹介などを担当する案内役を務めます。

開催趣旨

日程：平成 28 年 7 月 4 日（月）～7 月 25 日（月）の月・木曜日 18:30～20:30
（7 月 18 日（月・祝）のみ 13:00～14:45 及び 15:15～17:00 に 2 回分連続で実施します。）

会場：北海道大学情報教育館 3 階 スタジオ型多目的中講義室（札幌市北区北 17 条西 8 丁目）
（7 月 18 日（月・祝）のみ北海道大学学術交流会館小講堂（札幌市北区北 8 条西 5 丁目））

主催：北海道大学

参加対象・募集人数：18 歳以上の方であればどなたでも受講できます。定員約 100 人
（7 月 18 日のみ単発で 250 人まで受講可能）

受講料：5,000 円

（定員に余裕がある場合は、特定回のみ単発で受講可能（1 回あたり 1,500 円））

言語：日本語

講義題目と講師：

- | | | |
|-------|------------------------|-----------------------------|
| 第 1 回 | 「自然災害は予測できるか」 | 農学研究院 特任教授 丸谷 知己 |
| 第 2 回 | 「高齢化社会と創薬」 | 薬学研究院 准教授 堺谷 政弘 |
| 第 3 回 | 「現代日本における子育てとお金」 | 教育学研究院 准教授 鳥山 まどか |
| 第 4 回 | 「戦後民主主義の思想と冷戦終焉後の変容」 | 法学研究科 教授 権左 武志 |
| 第 5 回 | 「IT・ロボット技術が支える新しい農業の姿」 | 農学研究院 教授 野口 伸 |
| 第 6 回 | 「海洋生物資源を理解して上手につきあう」 | 北方生物圏フィールド科学センター 教授 宮下 和士 |
| 第 7 回 | 「観光が作り変えるこの国のかたち」 | メディア・コミュニケーション研究院 准教授 岡本 亮輔 |
| 第 8 回 | 「よいリサイクルかどうかの見分け方」 | 工学研究院 教授 松藤 敏彦 |

※詳細は、リーフレットまたは以下のウェブサイトをご覧ください。

http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/koukaikouza_2016/h28_koukai.htm

申し込み期間・方法：

以下の窓口へ直接，またはお電話でお申し込みください。申込期限（6月24日（金））以降も，定員に余裕があれば随時受け付けます。

1回ごとの単発の受講は，講義の3日前までにご連絡ください。

札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階6番 公開講座窓口

北海道大学学務部学務企画課（教育支援担当） TEL：011-706-5567

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研究部門

准教授 三上 直之（みかみ なおゆき） TEL：011-706-5306

事務室（担当：堀北） TEL：011-706-6069

「国のかたち」を案ずる時代の知恵

講座内容

戦後70年の節目を機に、「国のかたち」が多くの人の思索と議論的となる時代を迎えています。安全保障や憲法の問題はとくにホットな論点ですが、大事な話はそれだけではありません。超高齢社会における医療。経済格差と教育。技術革新が生み出す新しい食料生産。観光立国の可能性と課題。真に持続可能な循環型社会のしくみづくり。そして、この国土に生きる私たちの自然災害への向き合い方。本講座では、こうしたトピックに関する最新の研究について北海道大学の8人の研究者がお話しし、幅広い視点から「国のかたち」について考えます。

申込期間

平成28年6月1日(水)～6月24日(金)
 (土日を除く) 9:00～17:00

実施期間

7月4日(月)～7月25日(月)の月曜日及び木曜日
 18:30～20:30
 (但し7月18日(月・祝)のみ13:00～14:45及び15:15～17:00)

定員

100名(7月18日(月・祝)のみ単発で250名まで受講可能)

受講料

5,000円(1回のみ受講する場合は1,500円)
※専用の払込票にてお支払いください。振替払込受付証明書(以下、E票)は、受講申込書の所定の位置に貼付のうえ提出願います。なお、既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。

会場

北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室
 (札幌市北区北17条西8丁目)
 (7/18のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂
 (札幌市北区北8条西5丁目)

受講資格

18歳以上の方であればどなたでも受講できます。
 (学歴・職歴は問いません)

特定回の受講

全8回の講義のうち、定員に余裕がある場合は、特定回のみ単発で受講することが可能です。希望される講義の開催3日前までに問い合わせ先までご連絡ください。なお、特定回の受講料は1回あたり1,500円です。

修了証書

6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。

道民カレッジ

本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。
 (教養コース 16単位)※6回以上の出席が必要

申込手続きの流れ

- ①はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。
 ・定員に余裕がある場合。
- ②専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取った「振替払込受付証明書(以下、E票)」は、受講申込み時に必要ですのでなくさないようご注意ください。
- ③E票を裏面に添付した受講申込書を直接窓口へご持参いただくか、郵送でお申し込みください。

問い合わせ・申込先

国立大学法人北海道大学学務部学務企画課(教育支援担当)
 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階 6番公開講座窓口 電話 011-706-5567(直通)

自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

日程	講義題目	講師	講義概要
第1回 7/4(月)	自然災害は予測できるか	農学研究院 特任教授 丸谷 知己	我が国は、海に囲まれた特殊な自然環境にあり、自然災害から住民を守ることが何よりも大切です。そのためには、災害を的確に予測することがまず第一歩ですが、そのためには誤った常識に惑わされない知恵が必要です。
第2回 7/7(木)	高齢化社会と創薬	薬学研究科 准教授 堺谷 政弘	老化に伴い気になる病気として認知症、がん、感染症があります。最近の新薬の開発事例、最新の創薬研究の例、および、生活習慣の管理によりそれらの病気を克服し、健康寿命を伸ばす可能性についてお話します。
第3回 7/11(月)	現代日本における子育てとお金	教育学研究院 准教授 鳥山まどか	この講義では、「子どもの貧困」の問題や「子育て家族の経済格差」の問題を、「家計(お金のやりくり)」という視点から考えます。子育て家族の家計の現状や、家計と社会制度の関係について理解することを目指します。
第4回 7/14(木)	戦後民主主義の思想と冷戦終焉後の変容	法学研究科 教授 権左 武志	七〇年余りに敗戦を体験した日本で、明治以来の歴史を振り返り、冷戦下に進むべき進路と方向性を示そうとしたのが丸山眞男らの戦後思想でした。戦後民主主義の思想はいかに形成されたか、冷戦終焉後にいかに変容したかを考えます。
第5回 7/18(月・祝) 13:00～	IT・ロボット技術が支える新しい農業の姿	農学研究院 教授 野口 伸	ロボット技術や作物の生育・品質判定技術などのITの農業分野への導入は、従来の生産体系を変革する可能性を秘めています。最新の研究開発成果を紹介するとともに、その普及のあり方について考察します。
第6回 7/18(月・祝) 15:15～	海洋生物資源を理解して上手につきあう	北方生物圏フィールド 科学センター 教授 宮下 和士	海洋生物資源を人類が持続的に利用するためには、それらとそれらを取り巻く様々な環境を理解することが重要です。本講演ではそれらを理解するために必要不可欠な可視化技術とその応用について最新研究を交えて紹介します。
第7回 7/21(木)	観光がつくり変えるこの国のかたち	メディア・コミュニケーション研究院 准教授 岡本 亮輔	過疎化に悩む地域も世界遺産登録で一発逆転! 外国人観光者の激増で経済停滞も解決! 観光は希望を与えてくれますが、その背後では様々な意図や感情が交錯します。この授業では、そんな観光の裏側について考えます。
第8回 7/25(月)	よいリサイクルかどうかの見分け方	工学研究院 教授 松藤 敏彦	リサイクルやごみのエネルギー利用は、本当に「環境にやさしい」のでしょうか。工学的な原理、およびどんなことに注意すべきか、望ましい(あるいは望ましくない)方法の見分け方を、多くの事例によって紹介します。